

# 施策の検討について

# 新たな計画（素案）の構成図（イメージ）

## 第1章 新たな計画の意義

### 第1節 北海道開発の経緯

- ・開拓使の設置以降、一貫して国により組織的、計画的に推進
- ・国全体の安定と発展に寄与

### 第2節 新たな北海道総合開発計画の意義

- ・我が国を取り巻く環境の変化に対応し、北海道の優れた資源・特性を活かし、我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図る
- ・北海道をいかに開発し、国への貢献と地域の発展を図るかについて、明確なビジョンとして内外に広く示される必要

## 第2章 計画の方向性と目標

### 第1節 我が国を巡る環境変化と国家的課題

我が国は、グローバル化の進展、生存基盤そのものを脅かす地球環境問題、かつて経験したことのない規模の人口減少、急速な少子高齢化という大きな課題に直面

### 第2節 北海道の資源・特性

豊かな資源、北国らしい自然環境、冷涼な気候や、開発の歴史の中で培われてきた社会的開放性や人々を受容する風土など、アジアの中でも特徴的な優れた資源・特性

### 第3節 今後の北海道開発の方向性

#### 1. グローバル化

- ・アジアの人々を惹きつける自然環境、食などの優れた特性・資源を活かし、地域としての独自の役割を担い、発展していくチャンス

#### 2. 自然環境・エネルギー問題

- ・北海道の豊かな自然環境を維持し、その価値の向上に取り組む必要
- ・化石燃料依存度の高い北海道が、エネルギー問題等について、先導的な役割

#### 3. 人口減少・少子高齢化

- ・全国に先行して人口減少・少子高齢化が進み、広域分散型の北海道は、他地域の将来の姿を先取り
- ・人口減少社会のモデルと捉え、人口減少が衰退につながらない国土づくりを先導

#### 4. 活力と競争力ある地域社会の形成

- ・北海道が活力ある地域として発展することが必要

### 第4節 計画の目標と性格

【検討中】

## 第3章 計画の主要施策

### 第1節 グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

1. 食料供給力の強化と食に関わる産業の高付加価値化・競争力強化
  - 食料供給力の強化
  - 食に関わる産業の高付加価値化・競争力強化
2. 国際水準の観光地づくりに向けた観光の振興
  - 国際水準の観光地づくり
  - リーディング産業としての観光産業振興
3. 東アジアと共に成長する産業群の形成
  - 産業育成に向けての条件整備
  - 強みを活かした産業の育成

### 第2節 地球環境時代をリードし自然と共生する持続可能な地域社会の形成

- 自然共生社会の形成
- 循環型社会の形成
- 低炭素社会の形成

### 第3節 魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり

- 都市における機能の強化と魅力の向上
- 活力ある地域社会モデルとしての田園コミュニティ地域の形成
- 誰もが暮らしやすいユニバーサル社会の形成
- 北海道に隣接する地域等との連携

### 第4節 内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

- 国内外に開かれた広域交通ネットワーク等の構築
- まちなか交通体系の再生
- 冬期交通の信頼性向上

### 第5節 安全・安心な国土づくり

- 頻発する自然災害に備える防災対策の推進
- ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策の推進
- 道路交通事故等のない社会を目指した交通安全対策の推進

## 第4章 施策推進の基本方向

### 第1節 新たな時代を見据えた施策の転換、投資の重点化等

### 第2節 ビジョンの共有と多様な連携・協働

【検討中】

### 第3節 新たな北海道イニシアティブの発揮

# 新たな計画（素案）の構成図（イメージ）

## 計画の主要施策

### 第1節 グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

1. 食料供給力の強化と食に関わる産業の高付加価値化・競争力強化
2. 国際水準の観光地づくりに向けた観光の振興
3. 東アジアと共に成長する産業群の形成



第3回部会  
にて議論

### 第2節 地球環境時代をリードし自然と共生する持続可能な地域社会の形成

- 自然共生社会の形成（・良好な自然環境の保全 ・北海道らしい個性的な景観、自然とのふれあい空間の形成  
・豊かな自然を育む意識の醸成、アイヌ文化の振興等 ・重視すべき機能に応じた森林づくりの推進）
- 循環型社会の形成（・3Rの推進）
- 低炭素社会の形成  
（・地球環境負荷の少ないエネルギーの利活用促進 ・効率的なエネルギー消費社会の実現 ・温室効果ガス吸収源対策の推進）



第4回部会  
にて議論

### 第3節 魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり

- 都市と地域の活力の向上  
（・都市における機能の強化と魅力の向上 ・活力ある地域社会モデルとしての田園コミュニティ地域の形成  
・誰もが暮らしやすいユニバーサル社会の形成）
- 北海道に隣接する地域等との連携



第2回部会  
にて議論

### 第4節 内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

- 国内外に開かれた広域交通ネットワーク等の構築
- まちなか交通体系の再生
- 冬期交通の信頼性向上



第3回部会  
にて議論

### 第5節 安全・安心な国土づくり

- 頻発する自然災害に備える防災対策の推進
- ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策の推進
- 道路交通事故等のない社会を目指した交通安全対策の推進



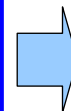
第2回部会  
にて議論

## 施策推進の基本方向

### 第1節 新たな時代を見据えた施策の転換、投資の重点化等

### 第2節 ビジョンの共有と多様な連携・協働

### 第3節 新たな北海道イニシアティブの発揮



第4回部会  
にて議論

### 背景

世界の食料需給は中長期的に逼迫する可能性もある中、主要先進国の中でも食料自給率が最も低い我が国の食料安全保障を支える観点から、食料供給力を強化することが必要である。

食の原材料の生産や移出に止まることなく、付加価値を高めるため、食品産業の育成・強化等を図るとともに、安全で高品質な農水産物や食品に対する国民の期待に応えるため、魅力ある「食」に関わる新たな北海道ブランドを確立することが必要である。

### 取組の方向性

#### ○食料供給力の強化

##### 農産物の供給力強化

- 効率的な農地の利用による生産性の維持・向上
  - 生産コスト低減を図るため、圃場の大区画化や分散している農地の連担化を推進。
  - 環境との調和を図りつつ収量の維持・向上を可能とするため、暗渠排水や土層改良等の農地整備、農業水利施設等の計画的な更新や整備を推進。
  - 低コスト生産技術等の開発を支援。
- 持続的・効率的な農業経営の確立
  - コントラクターの活用による作業の分業化へ向けた取組等による大規模化への支援。
  - 経営の多角化や持続的な経営を可能とする法人の形成・育成を支援。
  - 施設園芸や肉牛導入等による経営の複合化、農産物の加工・直売等による経営の多角化の取組等を促進。
  - 円滑な新規就農を可能とする取組等の充実により、多様な人材の確保・育成を支援。
  - 市場ニーズに対応した高品質な作物生産技術等の開発を支援。

##### 水産物の供給力強化

- 水産資源の有効利用による生産性の向上
  - 持続的な水産資源の保存及び管理を図るためTAC(漁獲可能量)制度やTAE(漁獲努力可能量)制度の適切な運用や、漁業者自らによる漁獲量規制による資源の維持を促進。
  - 水産資源の増大を図るため、種苗放流等による栽培漁業の促進や、生育環境となる藻場・干潟等の漁場の整備を推進。
  - 水産物の生産流通機能の高度化を図るため、広域的な資源管理型漁業の拠点となる漁港の整備を推進。
- 持続的・効率的な漁業経営の確立
  - 協業化や共同化による経営の効率化、省エネ型漁業への転換の取組などを支援。
  - 漁業生産資材の共同購入などによる漁業経営の効率化を支援。
  - 新規就業・新規参入の取組を支援。

**取組の方向性**

**○食に関わる産業の高付加価値化・競争力強化**

- 安全で高品質な農水産物の生産・供給と、その活用により付加価値をもたらす食品産業の育成・強化
  - クリーン農業の推進、環境負荷低減技術の開発及び衛生管理型漁港の整備の推進等を促進。
  - 消費者の信頼確保のため、トレーサビリティシステムの確立や、HACCP手法による衛生・品質管理の強化等への支援。
  - 的確なマーケティングを通じ、農水産業と食品産業等が連携した多様な食品加工等の拡大と普及を支援。
  - 新技術を活用し、低コスト化や高付加価値化のための新たな食品の開発・普及を支援。
  - 電子タグ等の情報通信技術を活用した出荷・物流システムによるコスト削減を支援。
- 農水産物や食品のブランド化に加え、地域イメージと相まった地域ブランド育成等による、消費者への訴求力強化
  - 地域のイメージとの相乗効果を期待できる地域ブランドのコンセプト構築への支援。
  - 優れた品質を確保し広く認知されるための認証・表示制度の確立等への支援。
  - 北海道ならではの農水産物等による新たな食のブランド育成への支援。



# 第1節 グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

## 2. 国際水準の観光地づくりに向けた観光の振興

### 背景

グローバル化の進展、特に、アジア地域の成長により、国際交流が本格的に進展している。

観光等による内外の人々の交流は、世界・アジアをはじめとする他地域の活力の取り込みを可能とするとともに、地域に対する誇りと愛着をもたらし、地域固有の自然・文化・風土等に関する理解を深めさせるものであることから、活力に満ちた地域社会の実現に不可欠。

一方、国民のゆとり・安らぎ志向の高まりから、観光旅行者のニーズの高度化、旅行形態の多様化、観光分野での国際競争・地域間競争の激化が進んでいる。

こうした中、北海道においては、地域ごとに異なる豊富な「食」、豊かな自然環境、冷涼な気候、こうした自然・風土がはぐくんだ個性ある文化など、国内はもちろん、アジアの中でも特徴的な資源・特性を有していることから、北海道が「美しい国・日本」「観光立国・日本」実現の旗手として、多様なニーズに対応した、国際的な競争にも打ち勝つことができる観光地を、持続可能な形で国内外の人々に提供する必要がある。

また、北海道における観光産業は、波及効果の裾野の広さ、大きさ等から、地域におけるリーディング産業として経済を牽引する役割が期待され、グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現に不可欠であるため、観光産業を北海道の地域経済の中核を担う基幹産業へ成長させる必要がある。

### 取組の方向性

#### ○国際水準の観光地づくり

- 地域固有の魅力を活かした個性豊かな観光地づくり
  - 「シーニックバイウェイ北海道」など地域と行政の連携・協働による地域密着型の観光地づくりを推進。
  - 北海道の豊かな自然等地域の魅力との触れ合い・交流の場の創造・提供に向けた取組を推進。
- ホスピタリティ向上のためのハード・ソフトのインフラ整備の推進
  - 新千歳空港をはじめとする道内各空港の国際ゲートウェイ機能を強化。
  - クルーズ観光に対応する旅客船ターミナル等の整備を推進。
  - 観光地へのアクセスや観光地間の交流・連携の強化を図る広域交通ネットワークの構築を推進。
  - 外国人観光客を始め誰もが円滑・安全・快適に旅行するための旅行関連施設・公共関連施設の整備と案内表示やガイド等による情報提供を促進。
  - 次世代を担う子どもたちに対して地域の魅力を学ぶための機会を設け、世代を超えた魅力の承継・向上の取組みを可能とする基盤づくりを推進。
- 国際水準の観光地としての戦略的情報発信
  - 2008年北海道洞爺湖サミットを契機として、国際会議、映画・テレビドラマ等のロケーションを始め、あらゆる機会を活用した北海道観光の魅力を戦略的に発信。
  - 国際会議その他の国際的な規模で開催される行事の誘致を促進。

#### ○リーディング産業としての観光産業振興

- 豊富な食、豊かな自然環境等地域の魅力を生かして付加価値を高めた人的交流のスタイルやサービスの提供に向けた産業間連携・産学官連携・地域間連携の強化
- 地域の観光振興の中核を担うリーダーを始め地域を案内・紹介するガイドや接遇を行う人材等観光の振興に寄与する人材の確保・育成と能力の向上

# 第1節 グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

## 3. 東アジアと共に成長する産業群の形成

### 背景

北海道が活力を維持するためには、世界、特に成長著しい東アジアの人・財・資金・技術・情報などを活用、誘引するためのたゆまぬ努力が不可欠であり、優れた資源・特性を活かし、地域としての独自の役割を担いながらアジア市場において競争力を確保し得ることが必須。

また、優位な資源・特性・資産を武器に、資金の域内循環を促進し、人材を育成するとともに、資本ストック活用の効率性を高めていくことを出発点として、地域の経済社会を変革していく努力が求められる。

### 取組の方向性

#### ○ 産業育成に向けての条件整備

- ▶ 東アジア各地域とのスピーディでシームレスかつ低廉な物流の実現のためのハード・ソフトにわたる諸施策を推進
- ▶ 新千歳空港、苫小牧港、石狩湾新港等の国際物流基盤周辺の優れた立地条件を活かし、苫小牧東部開発等を推進
- ▶ 地域の特性を活かした産業集積の形成・活性化や、企業立地促進のための基盤の計画的な整備を支援
- ▶ 大学、試験研究機関等による人材の育成や優秀な研究者等人材を惹きつける高等教育環境等の整備を促進
- ▶ 道内での起業への道内資金の投資や道内への対内直接投資の拡大を支援

#### ○ 強みを活かした産業の育成

##### IT、バイオ等成長が期待される産業

- ▶ IT産業の質の高度化と規模を拡大しつつ、同時に道内IT産業の市場拡大を実現する好循環を発生させるための取組等を支援
- ▶ バイオ産業クラスターにおける事業連携、産学官連携の推進などのネットワーク形成や研究開発、創業、販路拡大の取組等について支援
- ▶ 環境・エネルギー関連産業等強みを活かした産業の育成支援

##### 森林資源を活かした産業の育成

- ▶ 大量、安定的かつ低コストでの木材供給体制の構築
  - 施業の集約化による林業経営の規模拡大を支援。
  - 路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムの導入等を支援。
  - 製材工場等の木材加工流通施設の大規模化を支援。
- ▶ 加工度の高い製品の生産拡大の促進
  - カラマツ等の北海道の人工林資源について、原材料の供給にとどまらず、北海道内での合板、集成材生産等の高次加工施設の整備を支援。

背景

グローバル化が進展する中、競争力ある自立的安定経済の実現に資するため、道内外の拠点を効率的に結び、産業や観光などの経済活動を支えるネットワークの強化とモビリティの向上を図る必要がある。とりわけ、国内外との交流の基幹となる北海道新幹線の整備や国際物流ネットワーク機能の強化により競争力の向上に取り組む必要がある。

全国に先駆けて人口減少・少子高齢化が進む北海道において、魅力と活力ある北国の地域づくりなどの実現に資するため、地域医療など暮らしを支える交通ネットワークの整備とモビリティの向上を図るとともに、まちづくりと一体的に、都市交通の円滑化、公共交通の利便性向上、歩行者空間の快適性を確保することが必要である。

また、積雪寒冷地における安定した冬期交通の確保を図る必要がある。



取組の方向性

○国内外に開かれた広域交通ネットワーク等の構築

- 高速交通ネットワークの強化
  - 北海道新幹線の整備とこれに合わせた公共交通機関の利便性向上。
  - 主要都市間を連絡する高規格幹線道路が繋がっていない区間の解消や交通結節点へのアクセス強化。
  - 道内各空港の国際機能向上の推進。
  - 航空路線網の拡充や航空サービスの高度化の推進。
- 国際競争力を高めるための物流ネットワーク機能の強化
  - 国際海上コンテナ貨物輸送の拡大に対応した輸送拠点機能の強化。
  - アジア市場拡大に向けたダイレクトで効率的な海上・航空輸送手段構築の支援。
  - 海上物流の荷役の効率化及び国際物流関係の手続きの簡素化の促進。
  - 国際標準コンテナ車が支障なく通行可能な幹線道路ネットワークの構築。
- 国内物流における複合一貫輸送ネットワークの強化
- 地域経済・社会活動を支えるための交通ネットワークの強化
  - 医療など高次都市機能享受可能エリアの拡大のための圏域中心都市等へのアクセス強化。
  - コミュニティバスやDMV等地域のニーズに応じた地域公共交通の確保。
  - 地域の特性や求められる機能・性能に即したユーザーフレンドリーな協働型のみちづくり。
  - 情報通信技術を活用した交通基盤の効用の高度化。
- 情報通信網(ネットワーク)の高度化とその利活用
  - 携帯電話不能地帯や地上デジタル放送などの条件不利地域の解消。

○まちなか交通体系の再生

- まちのにぎわいを支える都市交通の円滑化
  - バイパスの整備、都心部へのアクセス改善、踏切の立体交差化等の促進。
- 公共交通を軸としたまちづくりの促進
  - 交通結節点整備等による公共交通の利便性向上を促進し、モビリティディバイドを解消。
  - 歩いてくらしを楽しむ道路ネットワークの再構築。

○冬期交通の信頼性向上

- 積雪寒冷地における航空機の更なる安定運航の確保
- 冬期における安全で信頼性の高い道路交通の確保
  - 都市内における冬期渋滞対策等の推進。
  - 雪崩・地吹雪対策等の推進。
- 冬期風浪に対する海上交通の安全性の向上の推進